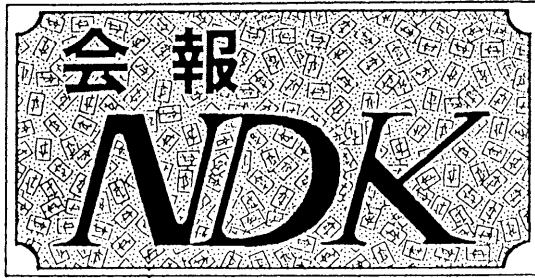




この標識は（一社）長野県ダンプカー協会員の保有するダンプカーに装着するプレートです。シンボルマークは協会員相互の親睦と道路交通安全の推進を表現しています。



発行
（一社）長野県ダンプカー協会
事務局
〒380-0928
長野市若里4-8-47
長野県砂利砕石業会館内
TEL 026-266-0722
FAX 026-227-3324
発行責任者
会長 松田文治

6月5日に総会開催が決定

本年度第二回の理事（役員）会が、三月六日（火）に長野市の長野県砂利砕石業会館で行われました。会議では、来年度事業や二十九年度決算見込みなどが話し合われ、平成三〇年度の第四十三回となる通常総会が六月五日（火）午前十一時から長野市のホテル信濃路で開催することが決定されました。総会では理事の任期が満了することで役員改選が行われます。今後、事務局より各地区あて理事選出の推薦を依頼する予定です。

JR東海へ要望しました。

中央新幹線建設工事における協会加盟のダンプカー使用に関して、二月十九日に飯田市にあるJR東海中央新幹線長野工事事務所の平永所長へ要望を行いました。

要望に先立ち、本会は、設立以来交通安全活動や、ダンプカーの交通事故防止対策活動を行い、地域社会の一員として信頼を得て、社会資本整備に不可欠な基礎資材の運搬業務を担う団体であることを説明したうえで、リニア中央新幹線の建設工事に伴い発生する土砂や工事に使用する骨材等の運搬に関して、運搬路の沿線では長期間に亘り交通環境の悪化が懸念されることから、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」第十二条を根拠に設立した本協会加盟事業者のダンプカーを使用するよう、受注事業者に対し指導してほしい旨の要請を行いました。

平永所長より、「すでに発注済みの工事箇所では協会加盟事業者のダンプを使用している。工事用車両の安全運行は重要であり、引き続き協会が指導している加盟の

ダンプカーを使うようにしていきたい。」と回答をいただきました。地域住民として一日も早い工事完成と営業運転の開始を待ち望んでいるところです。

軽油引取税の減免、延長決定

軽油引取税は、道路に関する費用に充てるため昭和三十一年に創設され、その際、道路に直接関係のない特定の用途では課税が免除されてきました。平成二十一年の石油等の道路特定財源の使途制限廃止に伴って軽油引取税の課税免除も廃止されそうになりましたが、関係団体の要請を受けて免除が継続されました。ただし三年間の特例とされたために以降3年ごとに特例の延長を求める要請を関係団体に行ってきたものです。

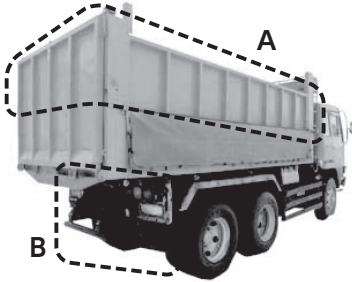
平成三〇年三月の期限切れを控えて、昨年六月以降（一社）長野県砂利砕石業協会や長野県砕石工業組合が合同で、長野県及び長野県議会に対して適用期限の延長を図るよう要請しました。全国的な諸団体からの要請を受けて、平成三〇年から三年間延長することが昨年末の政府の閣議で決定され、国会の審議を経て決定する見込みです。全国的な団体が行ったアンケート調査では、課税免除がなくなると、一社あたり五〇〇万円の費用負担増となり、事業からの撤退や従業員の削減あるいは赤字への転落が予想され経営の安定に大きな影響があるとされています。



不正改造は犯罪です!!

「知らなかった」では済まされません。

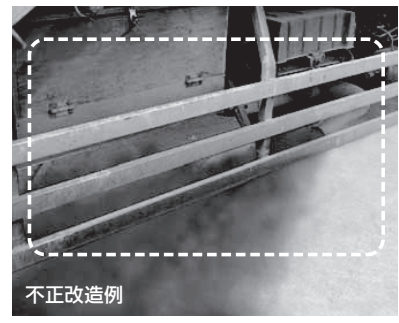
- A. 荷台さし枠の取付け・燃料タンクの増設
- B. 突入防止装置の切断・取外し



前面ガラス等への装飾板の装着



ディーゼル自動車が排出する黒煙



このような不正改造車を見かけたら、登録ナンバー、不正改造の内容、黒煙等の情報をお寄せ下さい。

不正改造車
・黒煙
110番

- | | | |
|----------------------|--------------------------|----------------------|
| 北海道運輸局 011-290-2752 | 中部運輸局[不正改造] 052-952-8042 | 四国運輸局 087-835-6369 |
| 東北運輸局 022-791-7534 | 中部運輸局[黒煙] 052-952-8044 | 九州運輸局 092-472-2537 |
| 北陸信越運輸局 025-285-9155 | 近畿運輸局 06-6949-6453 | 沖縄総合事務局 098-866-1837 |
| 関東運輸局 045-211-7254 | 中国運輸局 082-228-9142 | |

平成29年中の交通事故の発生状況等について

■概要

- 交通事故死者数(24時間以内死者数)は79人(前年比▲42人、▲34.7%)このうち、高齢者は43人で、全死者数の54.4%。
- 発生件数は平成17年から13年連続で減少。負傷者数も、前年より減少(前年比▲600人、▲5.8%)
- 発生件数が8,000件を、負傷者数が10,000人を下回るのは、昭和42年以降、50年ぶり

■年別推移

区分 年別	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	増減数		増減率		5年平均 H24-28
	件数	死者	負傷者	高齢死者	増減数	増減率											
件数	13,112	12,480	11,898	11,171	10,743	10,568	10,403	9,858	9,286	8,867	8,301	7,952	▲349	▲4.2			9,343
死者	128	121	118	111	110	115	97	100	82	69	121	79	▲42	▲34.7			94
負傷者	17,112	16,146	15,082	14,146	13,588	13,261	13,295	12,262	11,504	10,954	10,326	9,726	▲600	▲5.8			11,668
高齢死者	62	62	56	62	58	62	44	49	43	42	69	43	▲26	▲37.7			49

■ダンプカー事故の発生状況

年別	区分	発生件数	死者数	負傷者数
平成29年		18件	0人	20人
平成28年		27件	0人	36人
増減数		▲9件	—	▲16人



■平成30年の交通事故抑止目標(県警)

「交通事故死者数60人以下・交通死亡事故死傷者数9,500人以下」の達成を目標として取り組んで参りますのでご協力をお願いします。